

東北大学法科大学院 教員紹介（兼任教員）

早川 眞一郎 HAYAKAWA Shinichiro

最終学歴・学位

昭和 53 年 東京大学法学部卒 法学士

現職・主な経歴

東京大学大学院総合文化研究科教授

昭和 53 年- 東京大学法学部助手

昭和 57 年- 司法修習生

昭和 59 年- 弁護士

昭和 62 年- 関西大学法学部助教授

平成 4 年- 名古屋大学大学院国際開発研究科助教授

平成 10 年- 東北大学法学部（平成 12 年-大学院法学研究科）教授

平成 17 年- 東京大学大学院総合文化研究科教授（現職）

担当科目

民法Ⅲ

トランスナショナル情報法

主な論文・著作

早川眞一郎「法教育における民法学の役割」ジュリスト 1404 号 16-20 頁（2010 年）  
Shinichiro Hayakawa, “International Aspects of Family Maintenance Law in Japan”,  
Japanese Yearbook of International Law, vol. 52(2009), pp. 413-432.

早川眞一郎「公的機関の行為の国家への帰属、契約解除と収用、公正衡平待遇と正当な  
期待、非常時における十分な保護・保障の義務」JCA ジャーナル 2010 年 6 月号  
20-26 頁（2010 年）

Shinichiro Hayakawa, “The United Nations Convention on Contracts for International Sale of Goods and its Incidents of National Contract Law”, University of Tokyo Journal of Law and Politics, vol.7, pp.113-119 (2010)

早川眞一郎「弁済資金を得るための相当価格での不動産売却と詐害行為」(判批・大判大正13年4月25日第一民事部判決) 松本恒雄＝潮見佳男編『判例プラクティス民法Ⅱ債権』(信山社、2010年) 65頁

早川眞一郎「抵当権付き債務の弁済資金を得るための相当価格での不動産売却と詐害行為」(判批・最判昭和41年5月27日) 松本恒雄＝潮見佳男編『判例プラクティス民法Ⅱ債権』(信山社、2010年) 67頁

早川眞一郎「『ハーグ子奪取条約』断想 —— 日本の親子法制への一視点」ジュリスト 1430号 12-18頁 (2011年)

早川眞一郎「『国際的な子の監護』をめぐる問題について」判タ 1376号 47～55頁 (2012)